

(様式2)

令和7年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
高3	川崎総合科学高等学校全日制	濱野 雄功

学校教育目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・真理を探究し、高邁な人格の育成に努める。</li> <li>・教養を高め、豊かな創造力と健全な批判力の育成に努める。</li> <li>・専門の知識と技術を習得し、勤労を愛する精神の育成に努める。</li> <li>・身心を鍛錬し、明朗にして良識ある社会人の育成に努める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習指導・生活指導・進路指導</li> <li>2 教職員の資質・能力の向上、学校の組織力の強化</li> <li>3 個に応じた支援・指導の推進</li> <li>4 外部との連携の推進と効果的な広報活動の実施</li> <li>5 学校環境の整備、安全管理</li> </ol>

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策	
1	(1) 学習指導	基礎学力の定着と理解の定着を目指した授業の工夫と改善を図る。各科の特性を踏まえ、実践力および応用力の向上を目指した専門教育を推進する。	専門的な知識、理解および技術の向上に努めた。日々進歩する技術革新に伴い、DXハイスクールの導入を試みた。本校の専門教育の将来像に対する課題意識も高まっている。	各科・各教科が専門性を追求し、それを支える基礎学力や学ぶ意欲の伸長を図る取組を継続するとともに新しい取組への研究・研修を行う。DXハイスクールを継続し、更なる深化を図る。
	(2) 生活指導	生徒の自主性・主体性の育成を図るため特別活動の充実を図る。規範意識を育てることで、規律ある学校生活の充実を図るとともに、いじめを許さない環境作りに努める。	生徒会を中心とした活動が積極的に行われた。「いじめに関する実態調査」を行い定期的・継続的にいじめを許さない雰囲気や、情報収集と迅速な対応ができるシステムを構築している。	一人ひとりの人格を尊重し個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目標とする。生徒からの声や教育相談に対し適切に機能する組織作り、環境作りを継続する。
	(3) 進路指導	生徒・保護者・教師の連携のとれた指導体制の充実を図り、生徒の将来目標の具体化・明確化を促進し、希望の進路実現を目指す。	専門学科における多様な進路に対応するため、進路指導部を中心とした計画的で、具体的な取り組みが継続され、各科・学年との連携および協力のもと成果をあげている。	進路指導計画、大学訪問、企業訪問、職場体験などの実施し、それぞれの進路に適した細やかな対応等が継続できる環境整備を推進する。
2	学校運営	学校教育が円滑に機能するよう、運営委員会、校務調整委員会、科長会等の連携のもと組織運営を推進する。	指導力向上に向け、授業および教育活動におけるICT活用に関する校内研修に取り組んだ。引き続き教職員間で共通理解を深める必要がある。	分掌や委員会の役割を再確認し、円滑な学校運営を図る。現在実施している研修等が習慣的に取り組まれるよう働きかける。
3	個に応じた支援・指導	様々な課題等えお抱える生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズの把握に努め、個に応じた支援・指導を推進する。	様々な場面での支援教育への理解が深まり、個々の状況に応じた相談や支援が行われている。引き続き情報共有や研修等に取り組み、更に理解を深めていく必要がある。	生徒に寄り添い、情報共有を行い、具体的な支援につなげるためのケース会議を開催するなど、教職員の意識改革、校内組織体制、研修機会の構築・活性化をさらに推進する。
4	保護者・地域など外部との連携	外部との連携を重視した開かれた学校づくりを推進するとともに学校の情報を積極的に発信し、保護者や地域の学校教育への参画と理解を図る。	地域社会の行事に積極的に参加している。大学や企業等外部との連携による事業に各科ごとに特色を持ち、積極的に取り組むとともに、広報活動に力を注いだ。	引き続き外部との連携を継続するとともに、学校の魅力を十分に伝えられるよう、より効果的な情報発信を積極的に行う。
5	環境整備、安全管理、健康管理	学校生活の充実を図るために、学校全体の環境整備および安全・健康管理に取り組む。	防災に関する意識や安全・健康管理に関する指導を工夫するとともに、環境整備にも力を注ぐ必要性がある。	生活習慣を自律的に管理できることを目標に、家庭とも連携しながら取り組む努力を継続する。様々な場面で適切な避難行動ができるよう訓練を継続する。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
学校教育推進会議において、これまでも地域の行事に生徒が参加しているが更に協力して取り組んでいきたいこと、これまでは吹奏楽や軽音楽、神輿などであったが、スポーツ大会の参加なども提案された。また地域の防災に関して学校での取組やドローンの活用などのご意見をいただいた。	支援の必要な生徒が年々増加しており、情報共有や外部との連携など、これまで以上に組織的に取り組んでいくことが重要である。様々な外部との連携を積極的に実施してきた。引き続き取り組むとともに効果的な広報活動を実施していきたい。訓練や講話など防災意識の向上に努める必要が感じられる。